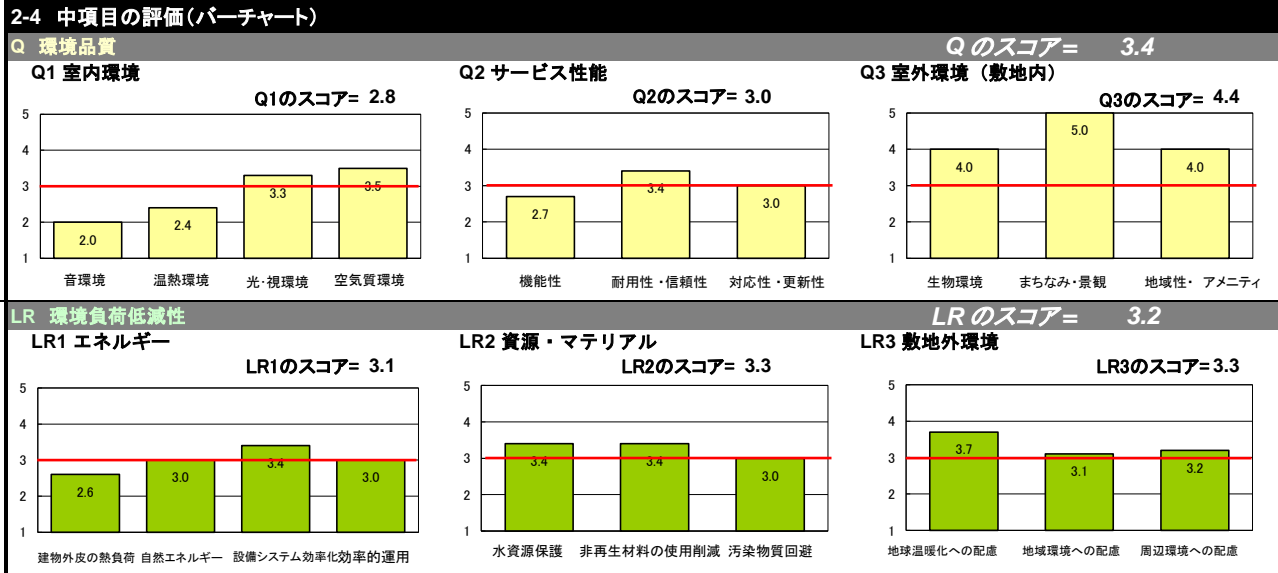
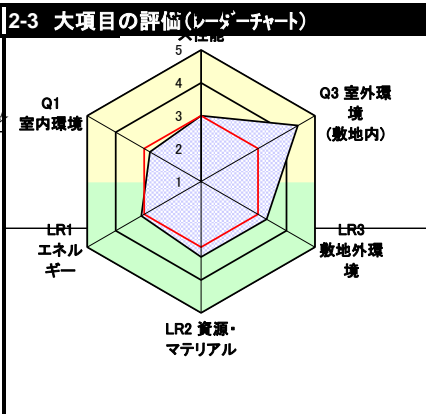
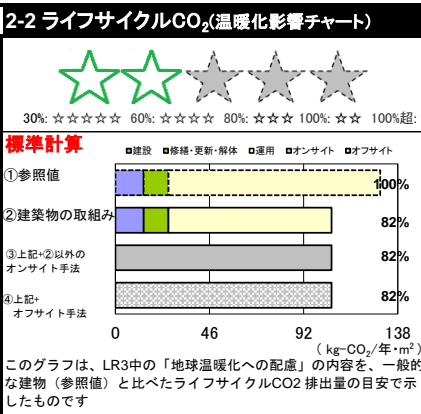
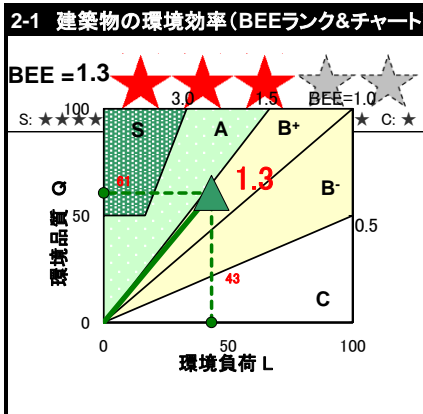


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮)小田原駅東口再開発ビル	階数	地上14F 地下1F
建設地	小田原市栄町一丁目625-5の一部他25筆	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	3,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、ホテル、工場、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2017年12月20日
敷地面積	5,510 m ²	作成者	五洋建設(株)本社一級建築士事務所
建築面積	4,016 m ²	確認日	2017年12月20日
延床面積	31,822 m ²	確認者	五洋建設(株)本社一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
小田原市に計画された複数用途施設である。 「宿場町のころを、いまに再現する」をコンセプトに宿場町の外観を再現することで歴史性の継承に配慮している。また、小田原の名所である桜を計画する事で地域性にも配慮した計画を行っている。		
Q1 室内環境 ・全面的にF☆☆☆☆の建築材料を採用。	Q2 サービス性能 ・耐用性の長い内装材、配管材の採用。 ・非常用発電設備、無停電電源装置等の採用。	Q3 室外環境 (敷地内) ・敷地内、建物上緑化により、緑の量の確保に配慮。 ・歴史性の継承に配慮 (宿場町の外観再生)。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル ・井水を利用している。 ・リサイクルを促進する対策として、再利用できる部材を採用している。	LR3 敷地外環境 ・交通渋滞に配慮した車両出入り口計画を計画。 ・屋外照明の計画は、周囲への漏れ光に配慮。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される